

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	65	事業名	児童館利用促進事業	担当部課	子ども部子ども未来課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 児童福祉法第40条		3-2-6 児童館費	
	事業開始の背景、経緯等	児童福祉法の施行により、児童館は地域における子どもの余暇活動の拠点として、不特定多数の地域の子どもたちに対して、健全な遊びを提供し、健全育成活動を行う場として、社会的に認知された。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 児童館は、児童福祉法に基づき設置された児童厚生施設であり、児童に健全な遊びを与えて健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。 青少年児童センター、上郷児童館、下山児童館、長久手西児童館及び長久手南児童館を運営する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした18歳未満の全ての児童				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) より多くの児童や乳幼児及びその保護者に対して児童館を利用してもらう。また、施設を適切に維持管理することで、利用者が児童館を安心・安全に利用できるようにする。				

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	事業費(A)	千円	予算	914	1,044	982	993	950
			決算	839	751	785	763	
	人件費(B)	千円	決算	4,736	5,316	8,425	2,373	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	5,575	6,067	9,210	3,136	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		90,822	88,480	85,134	85,000	88,000	
対象あたりコスト(C/D)	千円		0	0	0	0	0	

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	児童館入館者数	人	目標	80,000	85,000	85,000	85,000	88,000
			実績	90,822	88,480	85,134	78,523	
(指標の設定根拠) 児童館は児童に遊びを提供し異年齢との交流等を通じて社会性が育つ等の健全育成の拠点であり、子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所になることから、その入館者数とした。 (前年までと変更した場合はその理由)	(数値目標の根拠) 前年度実績及び過去の伸び率より設定した							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) いくつかの児童館では、今まで児童館で実施していた児童クラブが学校内で実施することにより、入館者が減少している。しかし、施設内の全部屋を活用した児童館運営ができるようになった。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 北小学校区では、旧北保育園跡地に北児童館を整備した。令和2年4月からの開館予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、開館時期を延期している。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 児童館ガイドラインに沿って、子どもが主体的に活動を行い、安心できる居場所となるよう児童館を運営する。地域ごとの児童館まつりの開催。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	児童館活動事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	40	50	50	50	50	
			実績	56					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 国において示された改正児童館ガイドラインの理解を深めるため、外部講師を招いて職員向け研修を行った。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	事務事業②	児童館まつり実施事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	250	270	280	280	280	
			実績	238					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績						
	(3) 児童館まつり協力者の満足度	%	見込	90	90	90	90	90	
			実績	96					
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 令和元年度は他児童館と合同で実施することにより、市内4か所で開催していたが、令和2年4月の北児童館開館により、北児童館を会場に加え、市内5か所での開催準備を進める。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業③	事務事業③								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1)		見込						
			実績						
	(2)		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 児童館ガイドラインに沿った児童館運営や地域ごとの児童館まつりの開催に向け、どちらにおいても、地域住民との連携が今以上に重要になると考える。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和3年4月、農村環境改善センターの多目的広場に上郷児童館を整備し、保育園・児童発達支援センターとの複合施設となる。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・児童館まつりと地域との連携を検討するとともに、事業規模及び内容の見直しを検討してください。 ・児童館まつりについて、例えば各児童館ごとに開催するなど、大掛かりになりすぎないよう、また職員の負担軽減が図られるよう努めてください。 ・児童館の運営・管理面の民間活用について、研究・検討してください。
内部意見への回答		